

CPD-9100BK

9インチ液晶ポータブルDVDプレーヤー

はじめに

この度はCICONIA 9インチ液晶ポータブルDVDプレーヤー CPD-9100BKをお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

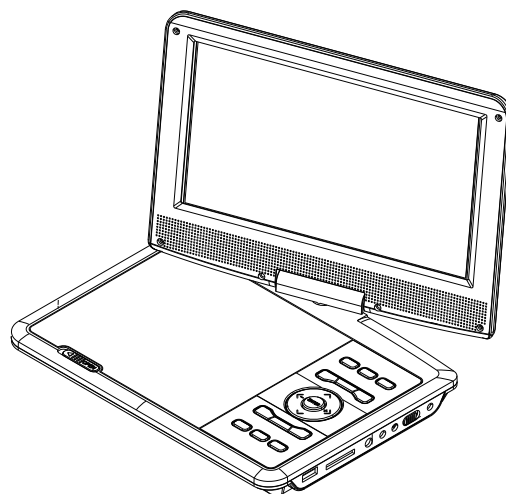
※この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用下さい。

※本取扱説明書には保証書が付属していますので大切に保管して下さい。

※付属品をお確かめ下さい。

◆目次

安全上のご注意 及び ご使用にあたってのお願い	2-4
主な特長 及び 付属品	4
各部の名称	5-6
電源の接続	7
本体内蔵電池の充電	8
外部機器との接続	9
DVD・CDディスクについて	10
DVDの結露について	10
DVD操作前の機能設定	11-12
DVDの基本操作	13
CD/CDのいろんな操作	14-15
CD/MP3-CDの基本操作	16
SDメモリーカード/USBメモリーについて	17
USB/SDカード再生	18
CDからUSBメモリー/SDカードにMP3録音	19-20
MP3-CDからUSBメモリー/SDカードにコピー	20
USB⇄SDカード間の相互コピー	21
JPEG(写真)ファイルの再生	21
製品仕様	22
故障かな?と思ったら	23-24
保証書	26



MPEG4/DVD/VCD/CD/MP3









安全上のご注意

- ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになった後もいつでも見れるところに必ず保管して下さい。

絵表示について

この取り扱い説明書には、使用者が製品を安全にお使いいただき、理解しやすい様に 色々な絵表示を使用しています。
誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。
いずれも重要な内容ですので必ず守って下さい。

絵表示の例

	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性及び、物的損傷の発生が想定される内容を示しています。
分解禁止 		この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
		この記号は、使用者の行為を指示強制したりする内容であることを告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグを電源コンセントから抜く)が描かれています。

警告



禁止

交流100V以外の電圧では使用しないで下さい。
* 火災・感電の原因となります。



禁止

本機に水を掛けたり、濡らしたり、また本機の上に水などの入った容器や小さな金属物を置かないで下さい。
* 火災・感電の原因となります。



注意

本機を落とすなどして破損した場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて下さい。
* そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
ご自身での修理は危険ですので、絶対にお止め下さい。
特にお子様のいるご家庭ではご注意下さい。



禁止

電源コードやプラグを破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、束ねたりしないで下さい。
また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



接触禁止

雷が鳴っている時は、絶対にAC電源プラグに触れないで下さい。
* 感電の原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜いたり差したりしないで下さい。
* 感電の原因となります。



分解禁止

絶対に分解したり・修理・改造は行わないで下さい。
* 火災・感電の原因となります。



禁止

本機の内部に金属類や燃えやすいものなどを入れたり、落としたりしないで下さい。
* 火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意下さい。



警告



注意

変な臭いや音がしたり、煙が出たらすぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて下さい。
 *そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
 ご自身での修理は危険ですから、絶対にお止め下さい。



注意

本機の中に水や異物が入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源コンセントから本体の電源プラグを抜いて下さい。
 *そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



指示

電源プラグの埃や汚れを定期的に乾いた布で拭き取って下さい。
 *プラグに埃などがたまると、湿気などで絶縁劣化となり、火災の原因となります。



禁止

レーザー光

レーザー光線を覗き込まないでください。
 *レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。



注意



注意

電源プラグは根元まで確実に差し込んで下さい。
 *差し込みが不完全な場合、感電や発熱による火災の原因になります。
 *抜く時はコードを引っ張らずに、必ず電源プラグ本体を持って抜いて下さい。



禁止

本機に布などを被せないで下さい。
 *内部に熱がこもり、火災の原因となりますので、ご注意ください。
 *テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないで下さい。
 *本機を押し入れなどの風通しの悪い狭い所で使用しないで下さい。



注意

効果的な放熱の為に、他の機器との間は少し離して置いて下さい
 *間隔が不十分ですと、火災・故障の原因となります。ラック等に設置する時は本機の前左右天面から15cm以上の隙間を空けて下さい。



禁止

直射日光が当たる場所や、異常に温度が高くなる場所に置かないで下さい。
 *キャビネットや部品の故障の原因となったり、内部の温度が上昇し、火災の原因となります。



電源プラグをコンセントから抜く

本機を移動する時は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから、外部接続コードを外して下さい。
 *感電の原因となります。



電源プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、安全の為、電源プラグを必ず電源コンセントから抜いて下さい。
 *感電の原因となります。



電源プラグをコンセントから抜く

長時間使わないときは、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて下さい。
 *火災の原因となることがあります。



電源プラグをコンセントから抜く

各機器との接続のときは、必ず電源スイッチを切り電源プラグを抜いて、取扱説明書に従って接続して下さい。
 *それぞれの機器の取扱説明書をよく読み指定のコードを使用して接続して下さい。



禁止

振動する場所や、ぐらつく台の上、傾いた所等、不安定な場所に置かないで下さい。
 *倒れたり、落ちたりして怪我の原因となります。



禁止

湿気や埃の多い場所には置かないで下さい。
 *火災や感電の原因となります。

ご使用にあたってのお願い

■必ずお守り下さい。

左右及び天面、後面の間隔は15cm程度空け、通気の良い所に置いて下さい。

熱がこもる状態で使用されますと、保護回路が働き音声レベルが下がったり、内部部品が破損する恐れがあり危険です。

⚠ 定期的に内部の掃除が必要です。

本機の内部に埃がたまったら長時間使用しますと、火災や故障の原因になることがあります。特に湿気の多くなる梅雨時期前に行うと、より効果的です。

- 本機は民生用の映像や音楽などを再生する目的で設計されております。従って信号発生器やテストディスクの信号などを再生しますと、本機の故障の原因となるばかりでなく、スピーカーを傷める原因となる事があります。
- オーディオインターフェース規格は民生用と業務用では異なります。本機は民生用のオーディオインターフェースに接続する目的で設計されています。業務用オーディオインターフェース機器との接続は本機の故障の原因となるばかりでなく、スピーカーを傷める原因となる事があります。
- ブラウン管式のテレビ等にスピーカーを近づけますと、映像がスピーカーとテレビ等の内部にある永久磁石の影響で歪んだり、画面と色が滲む場合があります。十分に間隔を取る様にして下さい。
- 本製品の再生中に製品本体の近くで携帯電話などをご利用になりますとその電波により雑音が発生する場合があります。雑音が発生する場合は携帯電話などを機器から離してご利用下さい。故障ではありません。

主な特長

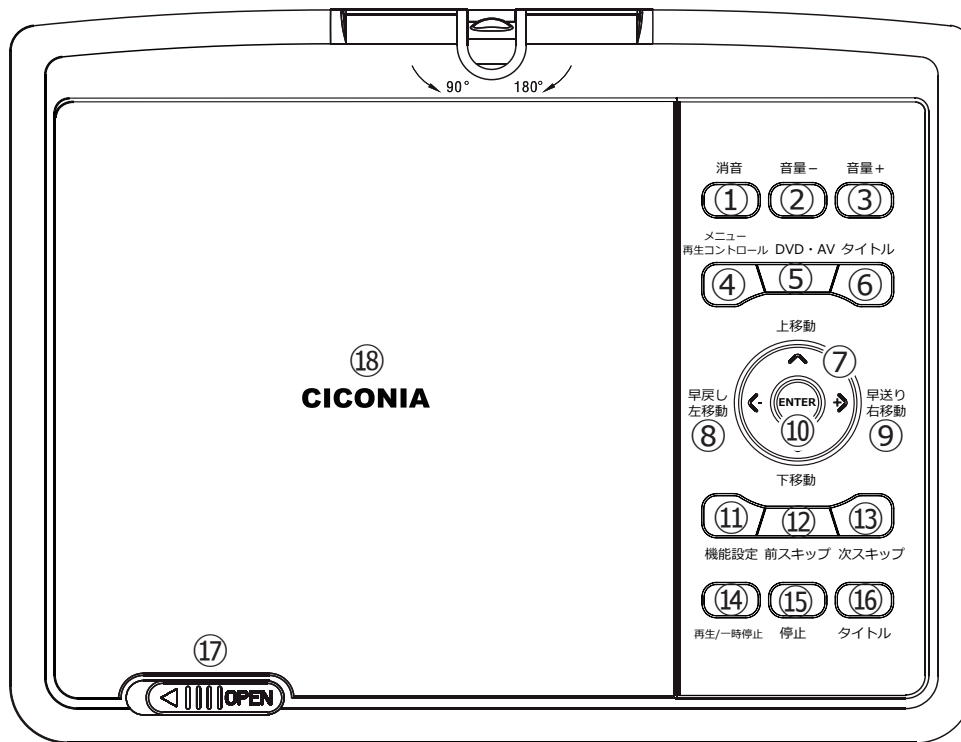
- 9インチ液晶パネル
- 本格的DVDプレーヤー内蔵
(MPEG-4/DVD/DVD-RW/DVD-R/DVD+R/CD/CD-R/CD-RW形式再生対応)
- VRモードのCPRM対応
- 外部機器接続用AV入力端子付
- 音楽CDをMP3形式音楽へダイレクト変換/記録機能
- MP3-CDから、SD/USBメモリーにコピー機能
- SDカードスロット/USBインターフェース付
- MPEG4/MP3/WMA/JPEG再生対応
- 日本語OSD表示

付属品

- リモコン
- 取扱説明書(本書)
- AVケーブル(入力と出力兼用)
- 車載用DCケーブル
- ACアダプター(本機専用、他の機器には使用できません)

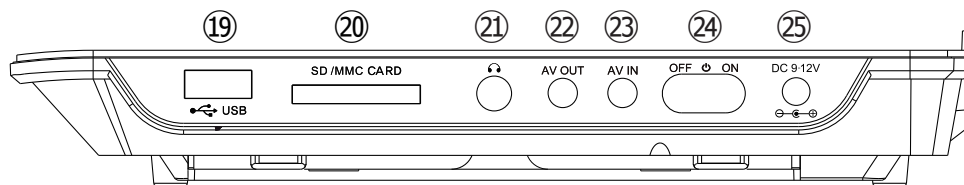
各部の名称

正面



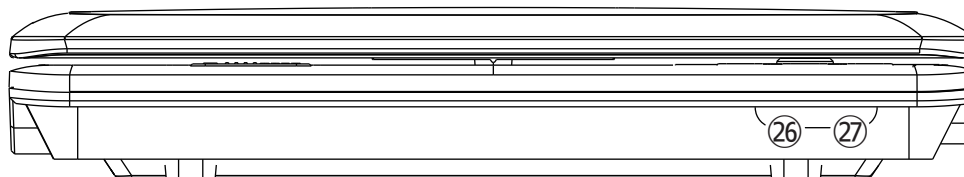
- | | |
|-----------------|----------------|
| ① 消音 | ⑩ 確定 |
| ② 音量ダウン | ⑪ 機能設定 |
| ③ 音量アップ | ⑫ 前スキップ |
| ④ メニュー/再生コントロール | ⑬ 次スキップ |
| ⑤ DVD/AVモード切替 | ⑭ 再生/一時停止 |
| ⑥ チャプタータイトル表示 | ⑮ 停止 |
| ⑦ 上下左右移動カーソル | ⑯ タイトル(再生情報表示) |
| ⑧ 早戻し/左移動 | ⑰ ディスクドア開閉キー |
| ⑨ 早送り/右移動 | ⑱ ディスクドア |

左側面



- | | |
|----------------|----------------|
| ⑱ USB端子 | ⑲ AV入力 (AV IN) |
| ⑲ SD/MMCカード挿入口 | ⑲ 電源スイッチ |
| ⑲ ヘッドフォン端子 | ⑲ 電源端子 |
| ⑲ AV出力(AV OUT) | |

前面



- | | |
|---------------|-----------|
| ⑲ 電池量/充電表示ランプ | ⑲ 電源表示ランプ |
|---------------|-----------|

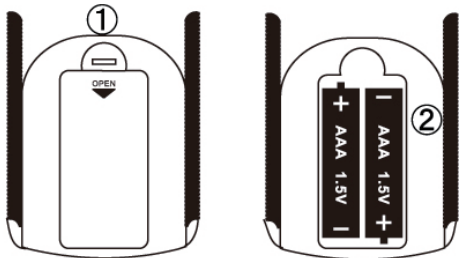
各部の名称

- ①DVD/AV モード切替
- ②ズーム再生
- ③スロー再生
- ④消音
- ⑤数字
- ⑥前にスキップ / 上に移動
- ⑦アングル
- ⑧確定
- ⑨早戻し / 左に移動
- ⑩後ろにスキップ / 下に移動
- ⑪機能設定
- ⑫プログラム設定
- ⑬リピート再生
- ⑭音声切替
- ⑮字幕表示切替 / CD/MP3 変換録音
- ⑯再生・一時停止
- ⑰停止
- ⑱早送り / 右に移動
- ⑲音量アップ
- ⑳タイトル画面表示
- ㉑音量ダウン
- ㉒メニュー・再生操作
- ㉓メディア・DVD モード切替
- ㉔画面サイズ (アスペクト比変更)
- ㉕TFT(液晶画面オン/オフ)
- ㉖A-B
※A点とB点をループ再生します
1 回押す…開始点 A
2 回押す…終了点 B
3 回押す…通常再生に戻る



リモコンの電池交換方法

- ①裏面にある電池蓋上部の止めに爪をかけ、押し下げて蓋を開けます。
- ②極性を間違わないように乾電池を挿入します。
- ③乾電池の蓋をはめます。



電池をこのように挿入します。

リモコン用電池について

リモコンの電池は、単4型電池×2本を使用します。
電池は付属していませんので、別途ご購入ください。

■ 電池の取り扱いについて

- ※⊕と⊖を逆に入れしないで下さい。
- ※乳幼児の手の届く所に置かないで下さい。
- ※⊕と⊖を針金などで接続しないで下さい。
- ※加熱・分解したり、水などの液体や、火の中に入れてしないで下さい。
- ※金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないで下さい。



■ 電池の液が漏れたときは、素手で液を触らず、紙や布で拭き取って下さい。

- ※液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。
目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談下さい。
- ※液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談下さい。



■ 使い切った電池はすぐに本体から取り出して下さい。

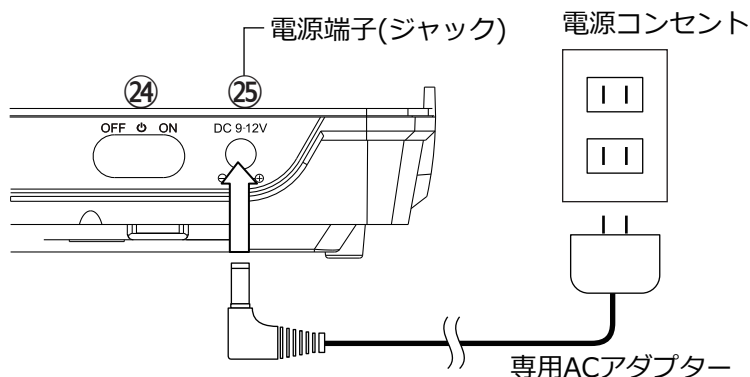
- ※そのまま機器の中に放置すると電池の液漏れや、発熱、破裂の原因になります。



電源の接続

本体と付属のACアダプターの接続

- ①付属のACアダプターのジャックを本体②⑤電源端子に差し込みます。
- ②片側のACアダプター本体を100V電源コンセントに差し込みます。

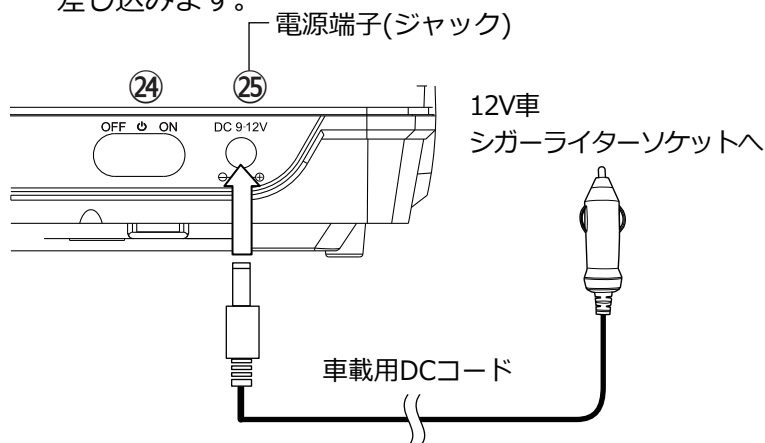


警告

- ※ACアダプターは家庭用交流100Vのコンセントに接続して下さい。
- ・交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因になります。
- ※濡れた手でACアダプターを抜き差ししないで下さい。感電の原因となることがあります。
- ・付属のACアダプター以外は使用しないで下さい。付属以外のものを使用すると、火災・故障の原因となります。
- ・通電中、ACアダプターの表面温度が高くなる場合がありますが、故障ではありません。
- ・持ち運ぶときは、ACアダプターを抜き、温度が下がってから行って下さい。

本体と付属の車載DCコードの接続

- ①付属の車載用DCコードのジャックを本体②⑤電源端子に差し込みます。
- ②片側の端子をシガーライターソケットに差し込みます。

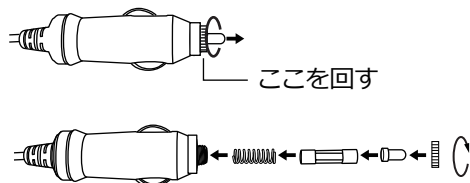


※自動車内で使う場合は、車載用DCコードを自動車のシガーライターソケットに接続して使用してください。

注意

- ※付属の車載用DCコードは、DC12Vマイナスアース車専用です。24V車では使用しないで下さい。
- ※シガーソケットを分配器などで増設して使用しないで下さい。
- ※車のエンジンをかけるときと切るときは、必ず車載用DCコードをシガーソケットから抜いて下さい。
- ※車載用DCコードおよびシガーソケットが灰や埃で汚れていないか確認して下さい。
- ※ご使用後は、必ず車載用DCコードを本体とシガーソケットから抜いて下さい。
- ※車種によっては、車載用DCコードを取り付けられない場合があります。

DCコードのヒューズ交換



DCコードを接続しても電源が入らない場合、以下のことを確認して下さい。

- ※DCコードがシガーソケットに奥まで差し込まれているかどうか
- ※コードの傷の有無
- ※シガーソケット内部の異物、汚れ、本体の電源入力端子の接続

問題ない場合、以下の手順でDCコード内にあるヒューズが切れていないか確認して下さい。

1. DCコードの先端部分のリングを左に回して取り外す。
内部のスプリングの力で、中の部品が飛び出てしまうことがありますので、注意して取り外して下さい。
2. ヒューズの中を確認し、切れていた場合は交換する。
使用するヒューズは1.5A 250Vです。他のヒューズは使用しないで下さい。
3. 元に戻す。(左の図を参考に元に戻して下さい)
ヒューズを交換しても電源が入らない、またはヒューズが切れていないのに電源が入らない場合は、シガーライターソケットに問題あるかもしれませんので、一度自動車修理店にご相談ください。

本体内蔵電池の充電

■内蔵電池への充電

本機には電池パックが内蔵されています。ご使用前に、充電してお使い下さい。特に初めてお使いになる前には、必ず充電を済ませて下さい。

1. 本機の電源を切れた状態にする。
 - ・本機の電源を入れたままではバッテリーパックは充電できません。
2. コード・ケーブル類が接続されていれば、すべて外す。
3. 本機にACアダプターを接続する。
 - ・充電が始まり、前面下部付近の、左側の②充電表示ランプが赤色に点灯します。
 - ・充電中、ACアダプターは抜かないで下さい。
4. 充電が完了すると、充電表示ランプが黄色に変わる。

■お知らせ

※電池容量が少なくなると、②充電表示ランプが赤色で表示されます。
※充電は、周囲の温度が5℃～35℃の環境で行って下さい。

バッテリーパックの充電時間の目安	約 5 時間
------------------	--------

※上記は目安であり、数値を保証するものではありません。
バッテリーパックの状態や周囲の温度などによって変わります。

バッテリーパック使用時のDVD連続再生時間の目安	最大 約 2 時間
--------------------------	-----------

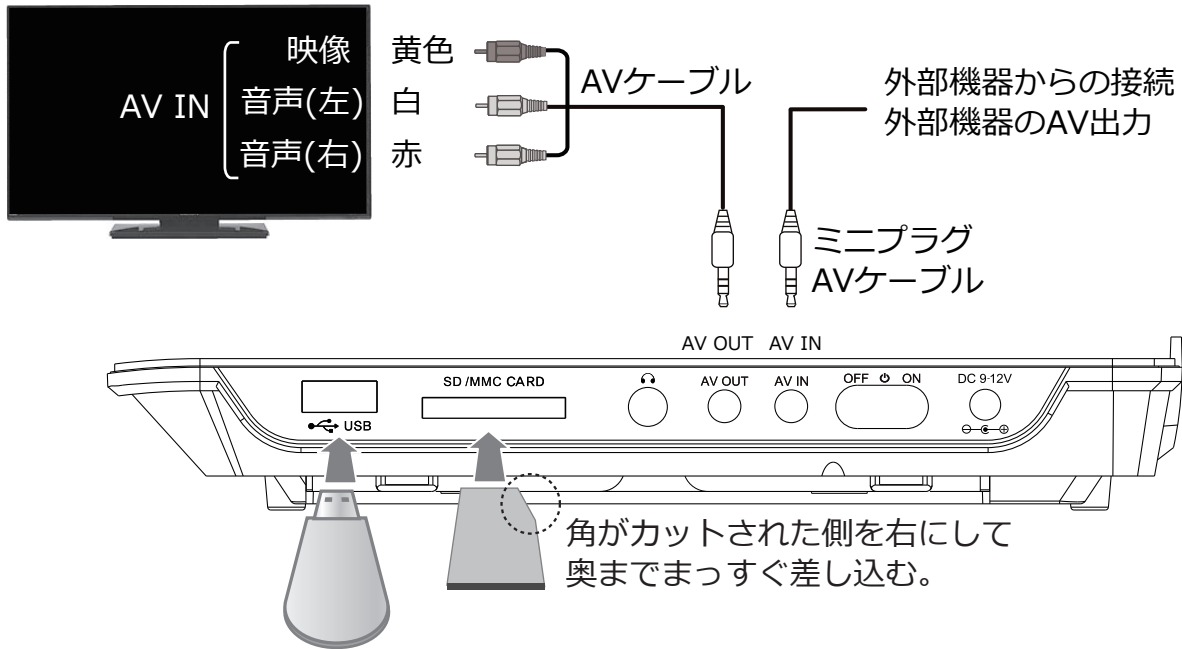
※上記は目安であり、数値を保証するものではありません。
(条件：25℃、電源切、各種コード無し)
※バッテリーパックの状態、使用条件、周囲の温度などによって変わります。

■バッテリーパックの寿命について

バッテリーパックには寿命があります。
正常に充電しても使用できる時間が著しく短くなった場合は、当社にご相談ください。

外部機器との接続

テレビ(またはモニター)



テレビまたはモニター等の大画面でみる場合

1. ACアダプターを接続する。
2. 付属のAVケーブルを使用して、
 - ・黄色のプラグをテレビの映像入力端子に接続
 - ・白のプラグをテレビの左音声入力端子に接続
 - ・赤のプラグをテレビの右音声入力端子に接続

外部機器の映像・音を本体で視聴する場合

1. 外部機器からのAV出力を本体AV INに付属のミニプラグケーブルで接続。
2. リモコン「(1)DVD/AVモード切替」キーでAVモードに切り替えます。

正しく接続されているか確認

1. 本機を接続したテレビ(またはモニター)の電源を入れる。
2. テレビ(またはモニター)の入力を外部入力に切り替えると起動画面が表示されます。



テレビ
(またはモニター)
一般放送画面

外部入力に
切り替える



起動画面

DVD・CDディスクについて

■再生できるDVD 及び CD

- 音楽CD、CD-R、CD-RW及びISO9660に準拠したMP3-CD

※CD-Gはご使用になれません。

※本製品は、CDの標準規格に従って設計されていますので、規格外のCDディスクを使用した場合、動作しないことがあります。

- DVD規格に準拠したDVD

■次のディスクは本機では再生できません。

※DVDオーディオ、SACD、音楽CD(及びVCD、MP3、JPEGディスク)以外のCD、DVD-RAM

※録画機器、録画状態やディスク製造上の問題で再生できないディスクがあります。

■ディスクを取り扱う時のご注意

- ディスクは、必ずラベル側を上側にし、がたつかない様に確実に装着して下さい。
傾いたまま装着し、動作させると本体の故障の原因となりディスクも傷つきます。
- ディスクを持つ場合は、ディスクの記録面を手で触れない様にし、ディスクの中心の穴と外周を指で挟んで持って下さい。
- 指紋や埃によるディスクの汚れは、音質劣化の原因になり、酷い場合はディスクが動作しません。
- 記録面の指紋、ゴミ等がある時は柔らかい布で中心から外側に向かって軽く拭いて下さい。
- 使用後のディスクは、ゴミの付着や汚れを防ぐため、必ずケースに入れて保管して下さい。

必ず守って下さい

- ベンジンやシンナー、アルコール、レコードクリーナー、静電防止剤等の化学溶剤は、ディスクを傷める事があるので使用しないで下さい。
- ラベルなどを、記録面に貼らないで下さい。
- ペンなどでディスクに書き込みをしないで下さい。
- ディスクを無理に曲げたり、そらしたりしないで下さい。
- 直射日光が当たる所や、暖房器具の傍など、高温や湿気の多い所に保管・放置しないで下さい。
- 長時間使用しない時は、本機よりディスクを取り出し、ディスクはケースに入れて保管して下さい。

■ディスクを再生時のご注意

- 再生中に本体を叩いたり、動かしたりして振動を与えないで下さい。
画像飛び・音飛びや故障の原因になります。
- ディスクトレイには、ディスク以外のものを、絶対に入れて下さい。
- ディスク再生中は、ディスクドアの開閉は絶対に避けて下さい。
必ず停止ボタンを押し、ディスクを完全に停止させてからドアを開閉して下さい。
- CD挿入は、必ず光っている記録面を内側にして一枚のみ入れて下さい。

【お願い】データの破損について

お客様の取り扱いや、静電気、電氣的ノイズ、衝撃、機器の故障により、ディスクやデータが破損した場合の損害については、当社は責任を負いかねますので予めご了承ください。

DVDの結露について

温度の低い場所から温度の高い場所へ本機を急に移動した場合など、内部レンズやディスクに結露(水滴)が生じ、正しく再生できない場合があります。

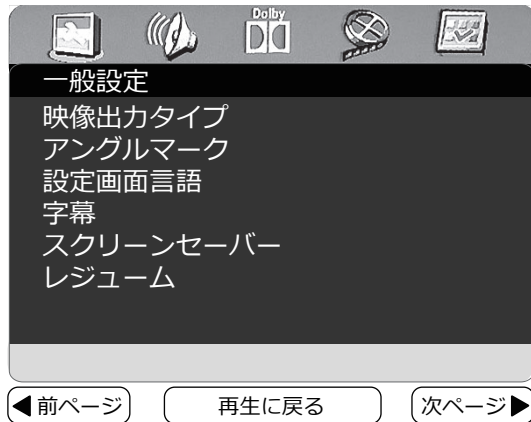
その場合はディスクを取り出して、一時間ほど待ってから使用して下さい。

DVD操作前の機能設定

リモコンの「(11)機能設定」キーを押し、設定ページをテレビ画面に表示させます。

その後、同じくリモコンの「(6)、(9)、(10)、(18)上下左右」と「(8)確定」キーで選択と確定の操作をします。

一般設定ページ



1. 表示サイズ(テレビ画面タイプの選定)

※4:3PS…接続したテレビが通常の4:3の画面比率の場合、画面全体に表示されます。

しかし若干拡大されますので、ワイド映像を再生した時に左右が欠けます。

※4:3LB…接続したテレビが通常の4:3の画面比率の場合、これに合わせて映像全部が表示されます。

ワイド映像の場合、上下に黒い帯が表示されます。

※16:9…接続されたテレビが16:9のワイド画面比率の場合、この画面比率に従った映像が表示されます。

2. アングルマーク オン/オフ切り替え

DVDソフトの中には、違う角度から見た映像も記録しているものがあり、この場合アングルマークをオンにしておくと、マークが表示され「(7)アングル切替」が操作可能になります。

3. 設定画面言語

メニュー画面設定時の使用言語を選定します。
(日本語と英語のいずれかを選定できます)

4. 字幕

字幕表示の入/切を設定します。

5. スクリーンセーバー

スクリーンセーブ(画面節約)機能の入/切を設定します。
オンの場合、DVDの停止モードや、ディスクドアが開閉されたまま、或いはディスク挿入が無い状態が60秒以上続いた場合、テレビ画面はDVDマークが移動するセーブ画面になります。

6. レジューム

オンの場合、前回鑑賞していたDVDソフトを途中で停止した箇所から再生を開始します。

オフにすると、常にDVDの最初から再生します。

音声設定ページ



スピーカー設定

※ダウンミックス…

ステレオ音声か、モノラル音声かを切り替えます。

オーディオ設定ページ



1. デュアルモノラル

再生時のオーディオ再生方式を選択します。

※ステレオ…通常のステレオ方式の再生

※モノラル左…左チャンネルに記録されたオーディオのみ再生

※モノラル右…右チャンネルに記録されたオーディオのみ再生

※ミックス…左右チャンネルを混合したモノラル再生

2. ダイナミックレンジ

音声の強弱域を調整します。

DVD操作前の機能設定

画面調整設定ページ



映像設定

- ※鮮明度…くっきり度を設定します。
- ※明るさ…明るさを設定します。
- ※コントラスト…明暗の差の度合いを設定します。
- ※彩度…色の鮮やかさを設定します。
- ※色調…赤味調や緑味調の度合いを設定します。

その他の設定ページ

※注意

この設定はディスクをセットしている時はできません。
ディスクを外した状態で設定してください。



1. 映像出力方式

PAL、オート(自動)、NTSCの中から設定します。
日本の場合NTSCを選択します。

2. 音声設定

DVD再生時の言語を選定します。
日本語を選択した場合、DVDソフトの中に記録されている言語の中に日本語があれば、日本語で再生します。

3. 字幕設定

DVD再生時の字幕を選定します。
日本語を選択した場合、DVDソフトの中に記録されている字幕の中に日本語があれば、日本語で表示されます。

4. メニュー言語

メニュー設定時の言語を選択します。

5. 視聴制限

暴力や性的シーンなどの過激な場面の視聴を制限します。
工場出荷時には、「成人向け」に設定しています。
視聴レベルを変更する際はパスワード「0000」を入力して下さい。

6. パスワード

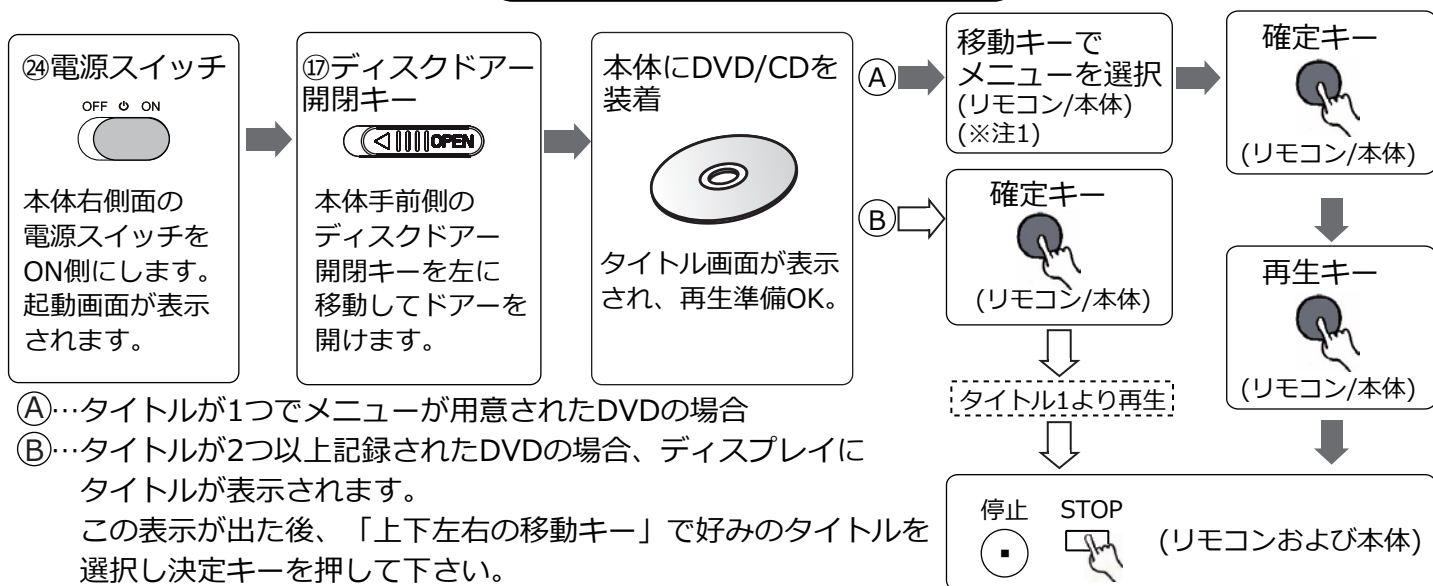
視聴制限を設定する際のパスワードを変更します。
工場設定時は、パスワードモードは「オン」にしています。
※変更する際には、「パスワード」⇒「変更する」を選択し、
「ENTER」決定キーを押します。
⇒「旧パスワード」を数字キーで入力
⇒「新パスワード」4桁数字を入力
⇒「パスワード確認」同じ4桁数字を入力
⇒「ENTER」決定キーを押します。

7. 設定初期化

工場から出荷された時の初期設定に戻します。

DVDの基本操作

外部テレビに接続しない場合



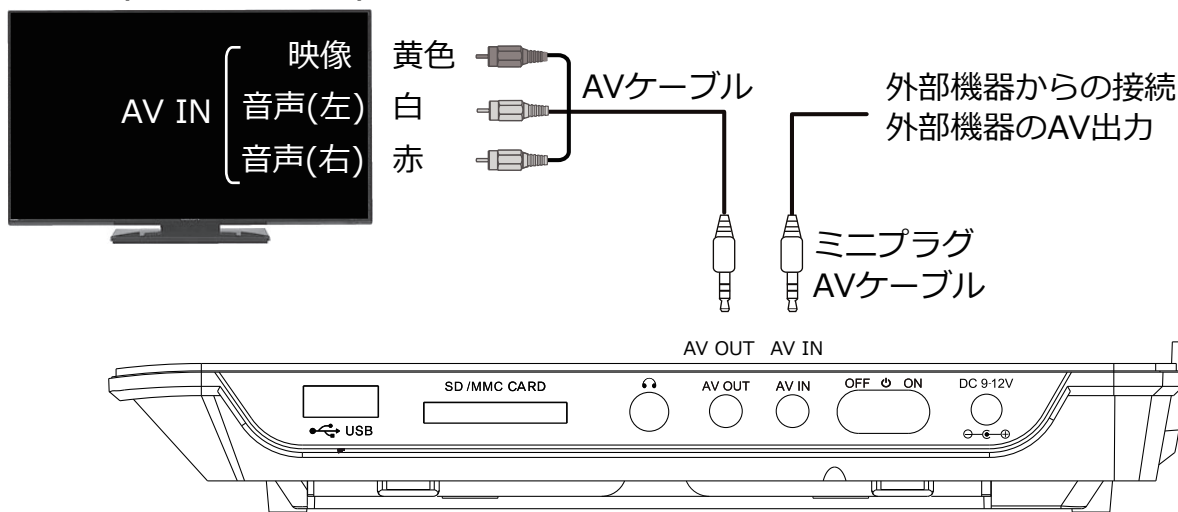
- ①…タイトルが1つでメニューが用意されたDVDの場合
②…タイトルが2つ以上記録されたDVDの場合、ディスプレイにタイトルが表示されます。
この表示が出た後、「上下左右の移動キー」で好みのタイトルを選択し決定キーを押して下さい。

※注1…DVD/CDを本体に装着後、記録された情報量により、読み取りに時間が掛かる場合があります。その際は、LCDパネルにタイトルやメニューまたは、記録内容が表示されるまでお待ち下さい。

1. 本体「④電源スイッチ」をON側にして、電源を入れます。
2. 本体「⑦ディスクドア開閉キー」を左側にスライドして、ディスクドアを開け、再生するディスクのラベル面を上にして、真ん中の回転軸にカチッと音がするまで、しっかり取り付けます。
3. タイトル画面が自動的に表示された場合、移動キーで再生したいタイトルを選択します。
4. 本体「⑩再生/一時停止」、またはリモコンの「(16)再生・一時停止」キーを押して、再生を開始します。

外部テレビに接続した場合

テレビ(またはモニター)



1. DVD操作をする前に、確実にテレビと接続されている事を確認して下さい。
 2. 接続したテレビの入力モードを、外部入力、或いはDVDに切り替えます。
 3. 後は、上の「外部テレビに接続しない場合」の操作と同じです。
- ※外部テレビに接続中でも、本体は通常の再生として、その画面も表示されます。

DVD/CDのいろんな操作

DVD ズーム再生

ズーム

リモコン「(2)ズーム再生」キーを押すごとに、2倍⇒3倍⇒4倍⇒1/2⇒1/3⇒1/4⇒(元のサイズに戻る)と切り替わります。
※このサイズ表示は、実寸ではなく、ガイドラインとしての表示です。

タイトル表示

タイトル

リモコン「(20)タイトル画面表示」キーまたは
本体「⑥チャプタータイトル表示」キー
表示された内容を移動カーソルキーで
選択し、決定キーを押すと選択した箇所
から再生を開始します。

再生情報表示

OSD

再生情報の表示、入/切を操作します。
本体「⑩タイトル(再生情報表示)」キー
で行います。このキーを押すごとに以下
の様に表示が切り替わります。

- 1回押し：タイトル再生時間
- 2回押し：タイトル残り時間
- 3回押し：チャプター再生時間
- 4回押し：チャプター残り時間
- 5回押し：表示なし

DVD アングル切替

アングル

DVDソフトの中には、同じシーンを違
った角度で記録されたものがあります。
その場合、リモコン「(7)アングル切替」
キーを押すことで、違った角度での鑑賞
が可能です。

消音

消音

リモコン「(4)消音」キー、または
本体「①消音」キー

再生時の音を出なくしたり、出したりと
切り替えます。消音をオンにすると画面
左下に「ミュート」と表示されます。

DVD スロー再生

スロー

リモコン「(3)スロー再生」キーで操作しま
す。DVDを正常再生時、キーを押すごとに、
再生スピードが
1/2⇒1/4⇒1/8⇒1/16⇒
逆戻り1/2⇒1/4⇒1/8⇒1/16⇒
通常と切り替わります。
(再押しで繰り返しとなります)

メニュー表示と設定

メニュー
再生操作

1. リモコン「(22)メニュー/再生操作」
または
本体「④メニュー/再生コントロール」
キーでディスクに記録されている内容
や再生時の設定方法を表示します。
2. リモコン「(6)、(9)、(10)、(18)上下
左右」キー、または、本体「⑦上下左
右移動カーソル」キーで希望の内容を
選択し、リモコン「(8)確定」キー、
または、本体「⑩確定」キーを押します。

PBC再生(カラオケディスク)

メニュー
再生操作

リモコン「(22)メニュー/再生操作」キー
で操作します。

VCD カラオケディスクの場合

1. PBCのオン/オフを切り替えます。
2. PBCをオンにした場合は、ディスクの
中の音楽タイトル一覧が表示されます。
3. リモコン「(5)数字」キーを入力して、
タイトルを選曲した後、
リモコン「(8)確定」キーを押します。

DVD カラオケディスクの場合

1. このキーを押すと、ディスクの中の音楽
タイトル一覧が表示されます。
2. リモコン「(6)、(9)、(10)、(18)上下
左右」キーで選択、或いは
リモコン「(5)数字」キーを入力した後、
リモコン「(8)確定」キーを押します。
※再生中にこのキーを押すと、タイトル一覧
画面に戻ります。

DVD/CDのいろんな操作

DVD/CDプログラム再生

DVD

タイトル番号・チャプター番号を選択して、プログラム再生の設定をします。

1. リモコン「(20)タイトル画面表示」キーでタイトル画面を表示します。
2. リモコン「(12)プログラム設定」キーでプログラム画面を表示します。
3. リモコン「(5)数字」キーで「TT:」の欄の好みのタイトル番号を入力します。
4. 再生順の欄に移動するので、続けて番号キーで再生順番号を入力すると「CH:」に移動するので、好みのチャプター番号を入力します。この後は同じ操作で入力して行きます。(最大20チャプターまで登録されます)
5. 移動ボタンで、プログラムメニュー画面の「再生開始」を選択し、リモコン「(8)確定」キーを押すと、リストに従って再生を開始します。

CD

1. 自動再生開始し、トラック情報が表示されたら、リモコン「(12)プログラム設定」キーを押します。
2. リモコン「(5)数字」キーで好みのトラック番号を選定します。(自動的に再生リストの1から順に、最大20曲まで、登録可能です)
3. 移動ボタンで、メニュー画面に表示されている「スタート」を選び、リモコン「(8)確定」キーを押すと、リストに従って再生を開始します。再生中は「プログラム再生」と表示されます。
4. 停止するには、画面に表示されている「停止」を選択します。

注意

MP3-CDはプログラム再生できません。

※リストから個別に解消・訂正する場合は、プログラム中、移動キーで選択後、リモコン「(5)数字」キーで入れ直します。

※プログラム再生を停止するには、画面に表示されている「終了」を選択し、リモコン「(17)停止」キーを押します。

DVD/CD/MP3-CDリピート再生

リピート

リモコン「(13)リピート再生」キーを押して設定します。

DVD

- 1回押し：チャプター単位で繰り返し再生
- 2回押し：タイトル単位で繰り返し再生
- 3回押し：全部の繰り返し再生
- 4回押し：通常再生に戻る

CD

- 1回押し：トラック単位で繰り返し再生
- 2回押し：全部の繰り返し再生
- 3回押し：通常再生に戻る

MP3-CD

- 1回押し：トラック単位で繰り返し再生
- 2回押し：フォルダー単位で繰り返し再生
- 3回押し：通常再生に戻る

CD/MP3-CDの基本操作

DVD装着と同じ方法でディスクを装着して下さい。

■フォルダーがないディスク

記録情報を読み取り後、自動的に再生されます。

※お願い

記録時の状態によりMP3-CD再生中に動作が固定される場合があります。その際は、電源スイッチを一旦オフにして、再度オンにして再生を開始してください。

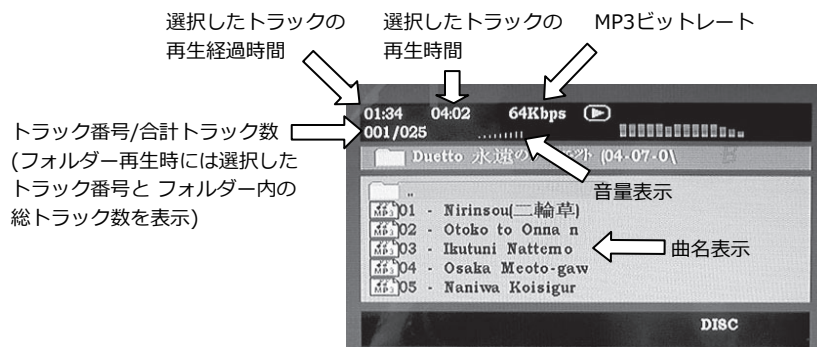
■フォルダーがあるディスク

1. 記録情報を読み取り、通しのトラック番号「01」から自動再生されます。
2. フォルダー内のお好みの曲を再生する場合は、リモコン「(17)停止」キーを一旦押し、リモコン「(12)プログラム設定」キーを押して、フォルダー再生に切り替えます。
3. 上下移動カーソルキーでお好みの曲を選択、またはリモコン「(5)数字」キーでトラック番号を直接入力してお好みの曲を選択します。
4. リモコン「(16)再生・一時停止」キー、またはリモコン「(8)確定」キーを押して再生を開始します。
5. 停止はリモコン「(17)停止」キーを押します。
次に本体の電源を入れたまま、再度再生する場合は、リモコン「(16)再生・一時停止」キーを押します。

※フォルダーがあるディスクの場合

1. リモコン「(12)プログラム設定」キーを押すごとに、「ファイル一覧」⇔「フォルダー再生」に交互に切り替わります。
「ファイル一覧」：フォルダーに関係なく、記録されている全トラックが表示されます。
…トラック検索に有効です。
「フォルダー再生」：記録されているフォルダーが表示されます。
リモコン「(8)確定」キーを押してフォルダーを開く⇒
フォルダー内のトラックが表示されます。
…フォルダー検索に有効です。
2. フォルダー再生モード時、リモコン「(16)再生・一時停止」キーを操作する事で、以下のモード切り替え表示が可能です。
「合計フォルダー数の表示」⇔「フォルダー内の全トラック数表示」

MP3-CD画面情報



※注意
曲名表示は、記録されたフォントに対応していない場合、文字化けすることがあります。

- 他トラックへの移動：リモコン「(6)前スキップ/上に移動」キー、「(10)次スキップ/下に移動」キーで移動させます。
- 早送り/早戻し：リモコン「(18)早送り/右に移動」キー、「(9)早戻し/左に移動」キーで操作します。
2倍、4倍、8倍、16倍、32倍のスピードが選択可能です。

SDメモリーカード・USBメモリーについて

本機で使用可能なSDメモリーカード

- SDメモリーカード、miniSD・microSDカード(専用アダプターが必要です)が使用可能です。
 - 使用可能なSDメモリーカードの容量は、4GBまでとなりますが、記録された情報を読み取るのに多少時間が掛かる場合がありますので、読み取りが完了し、テレビ画面に表示されるまでお待ち下さい。
 - 使用可能領域は表示容量より少なくなります。
- ※4GB以上のSDメモリーカードに関しては動作を保証していませんので、出来る限り4GB以下の物をご使用下さい。

メモリー機器の取り扱い注意

- 取り外す際には本体の電源をお切り下さい。
 - 元から貼られているラベルは剥がさないで下さい。また、新たにラベルやシールを貼らないで下さい。
 - メモリーに鉛筆やペンで、文字などを書かないで下さい。メモリーの故障、データ損失の原因になります。
 - メモリー内のデータはバックアップを取っておくことをお勧めします。
- ※メモリー機器本体や、記録されているデータに関しての保証は致しませんのでご注意下さい。
- 煙が出たり、変な臭いがする等、異常を感じたら、すぐにご使用を止め、電源をお切り下さい。
 - メモリー機器の分解や改造は絶対にしないで下さい。
 - メモリー機器にはプラスチック、金属部品が含まれています。燃えると危険ですので、廃棄する場合は各自治体の指示に従ってください。
 - メモリー機器を挿入したまま本体を移動しないで下さい。移動中に落としてしまったり、物に当てるなどして破損したり怪我をする原因となります。
 - SDメモリーカードの保管場所に関して、
 - ・湿気や埃、油煙の多い場所で使用、保管しない
 - ・直射日光の当たる場所やストーブやヒーターなどの熱源の傍で使用、保管しない
 - ・密閉された自動車の中(特に夏期)などに長時間放置しない
 - SDメモリーカードの端子部に指や金属で触れないで下さい。
 - SDメモリーカードに物を当てたり、投げる、落下させる等の強い衝撃を与えないで下さい。
 - メモリー機器の種類によっては処理速度が遅い場合があります。

本機で使用可能なUSBメモリー

- 本機で再生可能ファイル形式はAVI、JPEG、WMA、MP3のいずれかで、DRMコピープロテクション(著作権保護)がなされていないファイルのみです。
※これらファイル形式に関しては次ページの再生可能ファイル形式を参照ください。
 - 本機とパソコンをUSBケーブルで接続して、音楽ファイルや画像ファイルを再生することはできません。
 - USBハブには対応しておりません。
 - 容量の大きいUSBメモリーを接続したときは、読み込みに多少時間がかかることがあります。
 - U3機能対応・指紋ロック・セキュリティ機能が付加されているUSBメモリー機器には対応しておりません。
 - USBメモリー機器は、1パーティションの条件で動作します。
※8GB以上のUSBメモリー機器に関しては動作を保証していませんので、出来る限り8GB以下の物をご使用下さい。
 - ハードディスクタイプのUSB機器は動作が不安定になる恐れがあります。
 - 以下の製品については使用できません。
アップル製デジタルミュージックプレーヤー「iPod/iPhoneシリーズ」
ソニー製デジタルミュージックプレーヤー「ウォークマンシリーズ」
松下電器制SDオーディオプレーヤー「D-snapオーディオシリーズ」
東芝製デジタルミュージックプレーヤー「gigabeatシリーズ」
- 本機は全てのUSB機器との動作互換を保証するものではありません。

USB/SDカード再生

※重要なお願い

1. USBメモリー/SDカードにデータが入っていない状態、或いは、挿入されていない場合は、リモコンの「(23)メディア/DVDモード切替」キーを押さないで下さい。
2. 動作がおかしくなったりフリーズした場合は、電源スイッチを切り、ACアダプターを外して本体が冷えるのを待って、再度ACアダプターを接続し、電源を入れて下さい。

再生可能ファイル形式

MP3

WMA

JPEG

AVI

※1

※2

※3

- ※1 ISO9660に準拠したMP3方式で圧縮された音楽ファイル。
- ※2
 - ・ファイルシステムISO9660に準拠
 - ・拡張子JPG
 - ・特殊文字のないファイル名
 - ・ファイルサイズ10MB以下
 - ・フォーマット BASELINEのみ
 - ・色表示モード RGBのみ以上のファイル形式である事。
- ※3 記録されたときの音声コーデックの条件により、音声が途切れる時があります。



注意

記録状態により、音飛びや映像の乱れ、再生ができない場合がございます。

再生

※重要なお願い

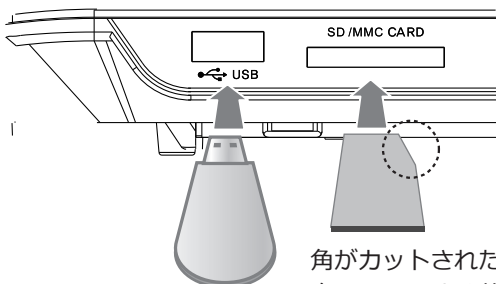
これらのメモリーを抜き取る時は、必ず電源スイッチを「切」にしてから、抜き取って下さい。

メディアを本体に挿入した後、

1. リモコン「(23)メディア・DVDモード切替」キーを押します。キーを押すごとに、DVD⇒USBモード⇔SDカードモード⇒(DVDに戻る)と切り替ります。
2. USBモード・SDカードモード共にフォルダーに関係なく、最初のデータから自動再生を開始します。
3. 好みのフォルダーやトラックを選択します。「停止」モードにし、リモコン「(12)プログラム設定」キーを押して、表示します。
4. 選択後は、リモコン「(8)確定」キーまたはリモコン「(16)再生・一時停止」キーを押すと再生を開始します。
5. 停止はリモコン「(17)停止」キーを押します。

メディアの装着

本体右側面にある、①9USB端子と②0SD/MMCカード挿入口に以下の様にそれぞれのメディアを確実に最後まで挿入する。



角がカットされた側を右にして奥までまっすぐ差し込む。

CDからUSBメモリー/SDカードにMP3録音

※重要なお願い

1. セットする記録メディアに、既に記録されている重要なデータは、必ずバックアップ保存をしておいてください。
2. CDから記録メディアを録音をした後に再生したい場合は、一旦電源を切り、記録メディアを抜き取り、電源を再度入れ直してから、差し込み再生をしてください。
3. 入力無効やフリーズした場合は、主電源を切り、再度電源を入れてください。
4. USBとSDカードへ同時には録音できません。

1. 記録先として、USBフラッシュメモリー、またはSDカードをそれぞれの挿入口に確実に挿入します。
2. MP3音楽コピーを作成したいCDディスクを本機に装着します。

ご注意

- * 記録メディアに空き容量がないと記録できません。
- * 本機では記録メディアに記録されているデータを削除することはできません。
- * 録音中は、本機の音量・音質を変えても録音される音声には影響ありません。
- * メモリー容量の大きい記録メディアを接続したときは、読み込みに多少時間が掛かることがあります。
- * 以下のメニュー表示欄で、「device none」と表示されましたら、記録メディアの読み込みがされていませんので、他のメディアに交換するか、メモリーに記録スペースがないか等、パソコンでチェックして下さい。
- * すでに途中まで録音されている場合は、本機が未登録部分を探して録音します。
上書きで録音はできません。
- * 本機ではフォルダー名やファイル名の入力はありません。
- * 本機ではMP3/WMAファイル形式のディスクからの録音はできません。
市販の音楽CDのみとなります。

3. リモコン「(15)字幕表示切替/CD/MP3変換録音」キーを押すと、以下のメニュー画面が表示されます。

サブ/
CDコピー

CD RIP			
Options		TRACK	
(A)	Speed Fast	track01	02:06
(B)	Bitrate 128kbps	track02	02:48
(C)	ID3 Yes	track03	01:46
(D)	Device USB	track04	02:01
Summary			
(E)	Selected Track 0	track05	01:58
(F)	Selected Time 00:00	track06	02:14
		track07	02:09
			▼
	Start	Exit	Select all Select one

(A) 録音スピード

(B) ビットレート(圧縮率)

工場出荷時設定は128kbpsです。

ENTER(確定)キーを押すごとに

「96K⇒112K⇒128K⇒192K⇒256K⇒320K

⇒96Kに戻る」と、設定変更が可能です。

(この数値が大きいほど、音質はよくなりますが
変換後のファイルサイズは大きくなります)

(C) ID3情報の書き込みを選択します。

(D) 録音先メディアの検出状態と録音先の選定

(E) 選択したトラックの数

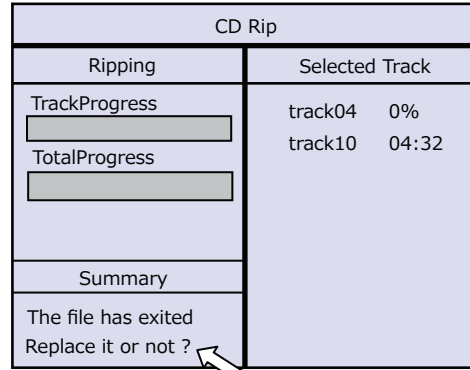
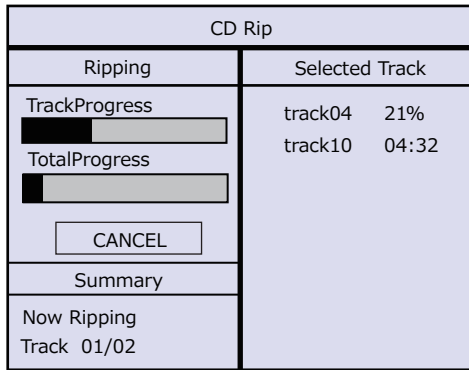
(F) 選択したトラックの再生時間

(G) 録音元のCDトラック名と再生時間

4. 希望のCDトラック名(番号)欄に、「移動カーソル」キーで移り、好みのトラックを同じく移動カーソルキーで選んだ後、リモコン「(8)確定」キーを押します。
(選んだトラック番号の頭に、チェックマークが入ります)

CDからUSBメモリー/SDカードにMP3録音

5.



ここに表示されます。

選択完了後、移動キーで「START(開始)」欄に移動し、確定キーを押すと変換録音が始まり、上のメニュー画面に切り替わります。

同じトラック名が既に以前に記録されてある場合は、メニュー画面の下側に「既に同じファイル名があります。上書きしますか?」と表示されますので、上書きの場合は「OK」を、上書きしない場合は「キャンセル」を選択して、確定キーを押します。

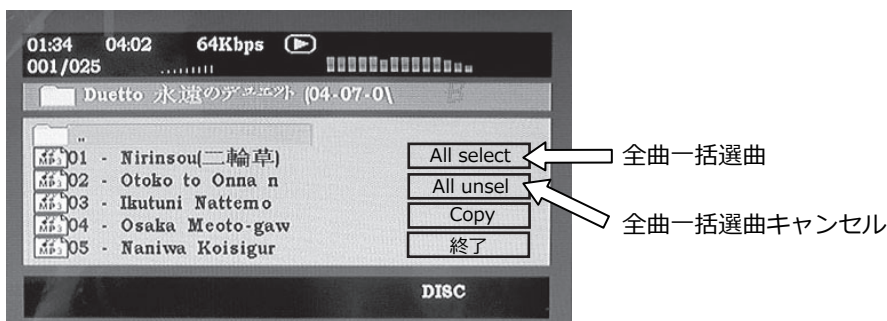
6. 終了後は、移動キーでメニュー画面の「exit」を選択し、確定キーを押して下さい。

7. 変換コピーされた音楽は、記録したメディアの中の「RIP_XXX」というフォルダーに保存されています。

▲ ご注意 ■ 録音中や録音画面表示中は、振動を与えたり、記録メディアを抜いたりしない下さい。

MP3-CDからUSBメモリー/SDカードにコピー

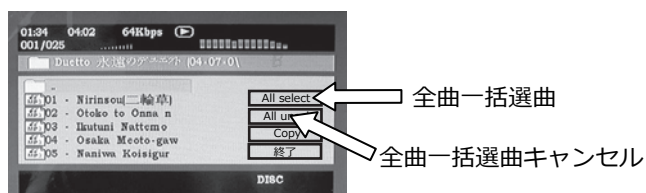
1. MP3-CDをディスクトレイに装着し、ディスクドアを閉じるとMP3再生開始画面が表示されます。
2. コピーする側の記録メディア(USBかSDカード、或いは両方)を挿入します。
3. その後、リモコンの「(15)字幕表示切替/CD/MP3変換録音」キーを押すと、以下のメニュー画面が表示されます。



4. リモコンの左右上下移動カーソルキーでコピーする曲を選び、「(8)確定」キーを押します。
(曲名の右側に、チェックマークが表示されます。全曲一括コピーする場合は、「All select」を選択します)
5. 同じ操作で、他の曲を選定します。
6. カーソルキーで右側に移動し、「Copy」を選択し、確定キーを押すと、記録メディアの選択メニュー「USB」と「SD」が表示されますので、希望する側を選択し、確定キーを押します。
7. 同じく画面右側に記録メディアの空き容量が表示され、「戻る」「次へ」のいずれかを選択し確定キーを押すと、「Copy」が表示され、コピーを開始します。
(現在の内容でコピーする場合は「次へ」を押し、訂正する場合は「戻る」を選択し、再度選曲をやり直した後、この「7」まで進んで下さい)
8. コピーを取り消す場合は、コピーが完了する前に、「CANCEL」を選択し、確定キーを押します。
9. コピーした記録メディアには、ファイル名「FILE」が表示され、コピー操作毎に、「ROOT1、2...」と順番に表示され、このフォルダー内に音楽データがコピーされています。

USB⇔SDカード間の相互コピー

1. 本体にUSBとSDカードの両方を挿入します。
2. リモコン「(23)メディア/DVDモード切替」キーで音源のメディアを選択します。
3. その後、リモコン「(15)字幕表示切替/CD/MP3変換録音」キーを押すと、以下のメニュー画面が表示されます。



4. リモコンの左右上下移動カーソルキーでコピーする曲を選び、「(8)確定」キーを押します。
(曲名の右側に、チェックマークが表示されます。全曲一括コピーする場合は、**All select** を選択します)
5. 同じ操作で、他の曲を選定します。
6. カーソルキーで右側に移動し、**Copy** を選択し、確定キーを押すと、記録される側のメディアが表示されます。その後、確定キーを押します。
7. 同じく画面右側に記録メディアの空き容量が表示され、**戻る** **次へ** のいずれかを選択し確定キーを押すと、コピーを開始します。
(現在の内容でコピーする場合は「次へ」を押し、訂正する場合は「戻る」を選択し、再度選曲をやり直した後、この「7」まで進んで下さい)
8. コピーを取り消す場合は、コピーが完了する前に、**CANCEL** を選択し、確定キーを押します。
9. コピーした記録メディアには、ファイル名「FILE」が表示され、コピー操作毎に、「ROOT1、2...」と順番に表示され、このフォルダー内に音楽データがコピーされています。

JPEG(写真)ファイルの再生

■ご注意

本機のJPEGファイル再生は、以下の内容のファイル形式以外は再生しませんので、あらかじめご了解ください。

1. ファイルシステムISO9660に準拠
2. 拡張子JPG
3. 特殊文字のないファイル名
4. ファイルサイズ 10MB以下
5. フォーマット BASELINE/プログレッシブ方式
6. カラーモード RGBのみ

■基本的な操作

1. DVDと同じ方法でディスクをセットする。
2. 自動的に記録内容の読み取りを開始した場合は、リモコン「(22)メニュー/再生操作」キーと、「(12)プログラム設定」キーで写真ファイルのあるフォルダーを表示します。
3. 表示後、リモコン「(8)確定」キー⇒カーソル移動キーで希望のファイルを選択します。
4. 選択後、リモコン「(8)確定」キーを押すと、自動再生を開始します。
5. 停止するには、リモコンの「(7)停止」キーを押します。

■表示画面を固定するには
次画面を表示させず、現在の表示画面に固定したい場合は、
リモコン「(16)再生・一時停止」キーを押します。

画面表示の回転

再生中に、リモコンの上下移動キーで操作します。
右向き矢印：時計方向に回転
左向き矢印：反時計方向に回転

画面表示開始方法の選択

再生時に、「(12)プログラム設定」キーを押します。
そのキーを押すごとに、表示開始方向が変わります。
(選択できます)

表示の拡大・縮小

リモコン「(2)ズーム再生」キーで操作しますが、画面表示の数字は、実寸と異なりガイドラインとしての数字になります。押すごとに、
125%⇒150%⇒200%⇒75%⇒50%⇒オフ
と切り替わります。
※ズーム表示中にカーソルキーを押すと、表示する範囲を動かせます。
※ズーム中はズームした画面のみ表示します。

製品仕様

画面	型式	9インチ LEDバックライト方式液晶
	画面比 / パネル解像度	16:9/800×480 RGB
DVD部	形式	トップローディング、縦置きメカニズム
	カラー方式	NTSC方式
	スロースピード	1/2、1/4、1/8、1/16
	早送り/早戻しスピード	2倍、4倍、8倍、16倍、32倍
	拡大	2倍⇒3倍⇒4倍⇒1/2⇒1/3⇒1/4⇒(元サイズ)
	プログラムメモリー	CD : 最大20曲
対応メディア他	対応メディア/フォーマット	DVD、DVD-R/RW、オーディオCD、CD-R/RW
	対応ファイルフォーマット	DVD-VIDEO、MPEG-4(AVI)、VIDEO-CD、CD-DA、MP3、WMA、JPEG(※)
	その他対応メディア	SDメモリーカード、MMC、USBフラッシュメモリー
アンプ部	音声出力	最大1.2W×2
	スピーカードライバーサイズ	28mmコーン型
	ユーザーインターフェース	USB2.0 SD/MMCカード
	CPRM機能	VRモード
	MP3変換・コピー機能	ビットレート(96K、128K、192K、256K、320kbs選択)
端子	入力	AV入力(3.5mm径)ミニプラグ ACアダプター接続端子
	出力	AV出力(3.5mm径)ミニプラグ ヘッドフォン端子
総合	電源	AC 100V 50/60Hz DC 7.4V 1000mAh (リチウムイオン電池)
	消費電力	14W
	寸法(mm) (本体のみ)	240(幅)×170(奥行き)×30(高さ)
	重量 (本体のみ) (総重量)	約0.9kg 約1.2kg(全アクセサリと化粧箱を含む)
付属品	■リモコン ■AVケーブル ■車載用DCケーブル ■取扱説明書(本書) ■ACアダプター(本機専用、他の機器には使用できません)	

※JPEG : ・ファイルシステムISO9660に準拠
 ・拡張子JPG
 ・特殊文字のないファイル名
 ・ファイルサイズ 10MB以下
 ・フォーマット BASELINE
 ・カラーモード RGB
 以上のファイル形式である事

※上記の内容は、改良のため予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

故障かな？と思ったら

長時間使用の場合、本体が熱を持ちますが、
使用には差し支えありません。

修理をご依頼する前に、この表で症状をお確かめください。
これらの処置をしても問題が解決しない場合には購入された店舗、または当社までご連絡ください。

	こんなときは	ここをご確認ください	処置
全体に共通	電源が入っているのに音が出ない。	音量調整レベルを再確認、或いはMUTE(消音)スイッチがオンになっていませんか？	両方をもう一度チェックしてみる。
	再生中に「ブーン」という音がする。	接続コードの近くに電源コードや蛍光灯がありませんか？	電気器具を本機からできるだけ離す。 電源コードを逆に差し替えてみる。
リモコン	リモコン操作ができない。	電池の⊕⊖が逆になっていませんか？	⊕⊖を正しく入れる。
		電池が消耗していませんか？	新しい電池と交換する。
	他の機器のリモコンで、本機が誤動する。	当社製の機器を同時に使っていますか？	本機と各機器の距離を離すか、各機器の電源を切る。
メディア (USB / SDカード)	CDからのコピーがうまくいかない。	メディアは正しく挿入されていますか？	挿入をやり直してみる。
		コピーメニュー画面でメディアが認識されていますか？	パソコンでメディアの内容と状態をチェックしてみる。 可能なら、再フォーマットを試してみる。
		コピー保護されたCDではありませんか？	CDのラベルを調べてみる。
	選択した一部の曲しかコピーできない。	メディアの空き容量は十分ですか？	パソコンで調べ、必要な空き容量を確保する。
		設定したMP3ビットレートが低くありませんか？	ビットレートを最低の96Kbsに変更して試してみる。
		コピーの進行中の途中で、何か操作をしませんでしたか？	再度、操作をやり直してみる。
ディスク (DVD / CD)	テレビに映像が映らない。画面サイズがおかしい。	テレビへの入力は正しいですか？	本機の接続に合わせて、テレビのビデオ入力を切り換えてみる。
		設定画面でビデオ出力を正しく設定しましたか？	設定をやり直してみる。
	ディスクを入れても再生されない。	規格外のディスクではありませんか？	規格と適合したディスクに取り替えてみる。
		本機で再生できるディスクですか？	ディスクのジャケットを確認して下さい。
		寒い所から暖かい所に移動して急激な温度変化はありませんか？	レンズ部の結露が考えられるので、約1時間待ってから使用してみる。
		回転している様だが、何か異音が聞こえていませんか？	ディスクをもう一度、しっかりと正しく装着し直してみる。 ラベル側が表になっているか、再確認してみる。
	DVD/AV切り替えモードがAVのままではありませんか？	DVD/AVキーを操作してみる。	

故障かな？と思ったら

	こんなときは	ここをご確認ください	処置
ディスク (DVD/CD)	音声言語、字幕言語が切り替わらない。 アングルを変えられない。	再生中のディスクに、複数の言語や字幕、アングルが記録されていますか？	ディスクのジャケットを確認して下さい。
	WMA/MP3ディスクが正しく読み込まれない。	マルチセッションでディスクを作成している場合、セッションの終了処理をしましたか？	セッションの終了処理を行なったWMA/MP3ディスクをご利用ください。
	特定の箇所が正常に再生しない。 操作しても動かない。	ディスクが汚れていませんか？	柔らかい布などで拭いてみる。
USB/S D	操作ができない。	USBとカードは共に正しく入っていますか？	共に正しく入れ直してみる。
		本機で使用できないカードではありませんか？	カードのタイプを再確認してみる。
		DVDモードに戻したり、停止キーを押しても、DVDモードに切り替わりませんか？	主電源を切り、電源コードを抜いた後、再び電源コードを繋ぎ、主電源を入れ直してみる。
	再生できない。	録音データにDRM (著作権保護機能)がかかっていませんか？	本機では著作権保護機能のかかったデータには対応していません。

Q&A (よくあるご質問)

マルチチャンネル音声を楽しむにはどのような機器が必要か	<ul style="list-style-type: none"> ●光デジタルケーブル ●同軸デジタルケーブル ●光、或いは同軸デジタル端子対応AVアンプ ※お近くの量販店にてお買い求めください。
海外で買ったDVDビデオビデオCDは再生できるか	●海外のDVDソフトやビデオCDの再生については当社は保証致しません。
映像方式がPALのディスクは再生できるか	●再生できません。(日本国内のテレビ映像方式はNTSC方式であり、PAL方式には対応していません)
ビデオに録画できるか	●ほとんどのDVDはコピー禁止処理がされており、録画できません。

長年ご使用の製品点検を

こんな症状はありませんか	<ul style="list-style-type: none"> ・電源が入らない ・音が出ない ・煙がでたり、異常な臭いや音がする ・水や異物が入った ・その他の異常や故障がある
上記のような症状のときは、使用を中止し、故障や事故防止のため、必ずお買い上げの販売店に点検(有償)をご相談ください。	